
小規模事業者のアンケート調査 報告書

平成 29 年 2 月
白石商工会議所

<目 次>

第 1 章 調査結果の概要	1
1-1 調査概要	3
(1) 調査目的	3
(2) 調査の概要	3
(3) 調査内容	3
(4) 留意事項	4
1-2 調査結果の要約	5
 第 2 章 調査結果の分析	 5
2-1 回答者の属性	9
(1) 業種	9
2-2 調査結果の分析	10
(1) 売上高	10
(2) 資金繰り	15
(3) 金融機関からの借入	17
(4) 業界景気	19
(5) 雇用状況	23
(6) 経営上の問題点	27
2-3 経営支援メニュー	35
 資料編	 37

第 1 章

調査結果の概要

1-1 調査概要

(1) 調査目的

白石商工会議所では、平成26年に改正された商工会議所及び商工会による小規模事業者の支援に関する法律「小規模事業者支援法」に基づき、小規模事業者の事業の継続的発展を支援する事業を展開している。

域内の小規模事業者を対象に現在の売上状況、業況、経営課題などを調査し、経営支援業務等に活用する基礎データを取得し、今後の経営改善、経営力強化に向けた支援を実施していくことを目的とする。

(2) 調査の概要

- 調査対象 白石市内の小規模事業者 635 社
- 調査方法 郵送配布・郵送回収・巡回配布・巡回回収
- 調査時期 平成28年11月22日～12月5日
- 総回収数・率 445 件 (70.1%)
- 有効回答数・率 441 件 (69.4%)

業 種	総回収数(件)
合計	445
製造業	57
非製造業計	384
卸売業	15
小売業	132
飲食業	53
サービス業	88
建設業	87
運輸業	3
不動産業	6
無回答	4

(3) 調査内容

- 事業者属性（業種）
- 売上高（今期実績、次期見通し）
- 資金繰り（今期実績、借入）
- 業界景気（今期実績、次期見通し）
- 雇用人数（従業員数、正規雇用者数、今期実績、次期見通し）
- 経営上の問題点
- 経営支援サービス利用状況

(4) 留意事項

- n= (number of cases) とは、設問ごとの回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- 集計表は、上段を回答件数、下段を構成比として掲載している。
- 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。
複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- 数値の単位未満は四捨五入を原則としたため、各項目の値の合計が総数と一致しない場合がある。
- 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- クロス集計では、回収サンプルが少ないセグメントについては、コメントを付していないものがある。

○ D I について

D I とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略であり、「良い／悪い」「増加／減少」などの定性的な判断を指標として集計・加工した指数である。

○ 本調査における D I の算出方法について

売上高「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、業況は良いということになる。

資金繰り「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、資金繰りが増加した事業者が多いということになる。

金融機関の借入「緩い」と答えた事業者の割合－「厳しい」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、融資等を受けるのが容易ということになる。

業界景気「好転」と答えた事業者の割合－「悪化」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、業況判断は良いということになる。

従業員数「過剰、増加」と答えた事業者の割合－「不足、減少」と答えた事業者の割合

⇒D I 値が大きいほど、増員予定の事業者が減員予定の事業者に比べ、多いということになる。

○ 事業所の規模について

事業者の規模は、商工会法（昭和35年法律第89号）第2条に規定する商工業者で、常時使用する従業員数が商業・サービス業（宿泊業及び娯楽業を除く）にあっては5人以下、製造業、その他にあっては20人以下の企業としている。

業種 規模	製造業、建設業、運輸業、宿泊業、不動産業	卸売業、小売業、飲食業、サービス業
小規模	20人以下	5人以下

○ 端数の処理について

数値の単位未満は四捨五入を原則としたため、各項目の値の合計が総数と一致しない場合がある。

1-2 調査結果の要約

～今期の業況DIは▲55.0、来期はほぼ横ばいの見通し～

今期の業況（業界景気）のDIは、▲55.0となった。業種別にみると、すべての業種でマイナスであり、製造業は▲50.0、非製造業は▲55.7となっている。

来期については、業況のDIは今期より7.6ポイント増加して▲47.4となり、マイナス幅が減少し、好転する見通しである。業種別では、運輸業及び不動産業では横ばい、これら以外の業種では好転する見通しとなっている。

今回調査の結果(DI値)

調査項目(DI)	今期	来期	来期見通し(今期実績との比較)	
売上高	▲45.1	▲39.6	上昇する見通し	↗
資金繰り	▲21.1	－	－	－
金融機関からの借入	▲5.4	－	－	－
業界景気	▲55.0	▲47.4	上昇する見通し	↗
雇用人員	▲31.0	▲18.1	上昇する見通し	↗

↗ 上昇 ⇨ 横ばい・ほぼ横ばい ↘ 下降

※DI＝「上昇」（「増加」、「緩い」、「好転」、「過剰」）と答えた事業者の割合（％）
 －▲「下降」（「減少」、「厳しい」、「悪化」、「不足」）と答えた事業者の割合（％）

業種別業況(DI値)

業種	今期	来期	来期見通し(今期実績との比較)	業種	今期	来期	来期見通し(今期実績との比較)
製造業	▲50.0	▲33.3	↗	サービス業	▲47.7	▲46.5	↗
卸売業	▲60.0	▲53.3	↗	建設業	▲34.1	▲31.7	↗
小売業	▲72.4	▲63.7	↗	運輸業	▲66.7	▲66.7	⇨
飲食業	▲60.4	▲44.0	↗	不動産業	▲66.7	▲66.7	⇨

↗ 好転 ⇨ 横ばい・ほぼ横ばい ↘ 悪化

※DI＝「良い」と答えた事業所の割合（％）－「悪い」と答えた事業所の割合（％）
 ※本調査における業況判断（事業者の業況）DIとは、設問1～3＜業界景気について＞をいう。

～「売上・受注の減少」が第1位～

各項目のDIをみると、全体的に厳しい景況感となっている。

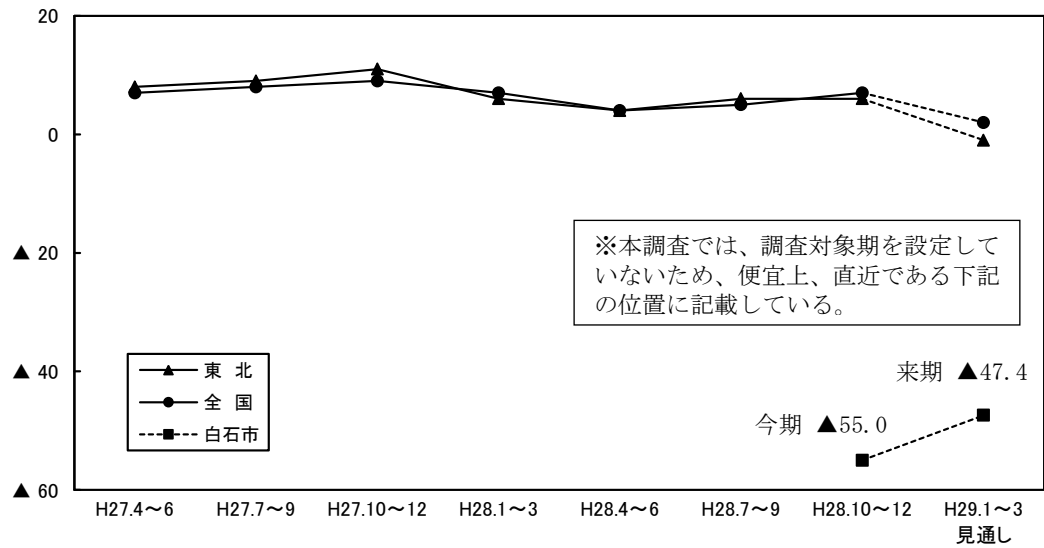
経営上の問題点については、「売上・受注の減少」が製造業で48.1%、非製造業で49.9%と、割合がそれぞれ最も多くなっている。事業者の約半数が「売上・受注の減少」という課題に直面していることが分かる。

＜参考＞ 全国及び東北の業況判断D I

平成28年10月～12月期における全国の業況判断D I（全業種）は7と、前期（平成28年7～9月）と比べ、上昇した。東北の業況判断D I（全業種）は6で、前期と変わらず横ばいであった。

来期（平成29年1～3月）の見通しは、全国及び東北で下降と捉えられている。

全国及び東北の業況判断D I 推移（全業種）



全国地域別の業況判断D I

		27/6月	27/9月	27/12月	28/3月	28/6月	28/9月	28/12月	29/3月
								28/9月比 ポイント差	予測
全業種	東北	8	9	11	6	4	6	6	▲1
	全国	7	8	9	7	4	5	7	2

※D I＝「良い」と答えた企業の割合（％）－「悪い」と答えた企業の割合（％）

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。▲はマイナスを表す。

※東北については、「日銀全国企業短観調査（東北地区6県、平成28年12月）」におけるD I 値。

※全国については、「日銀全国企業短観調査（平成28年12月）」におけるD I 値。

※「日銀全国企業短観調査」の調査対象は、資本金2千万円以上の民間企業（金融機関を除く）であり、本調査の対象とは異なる。

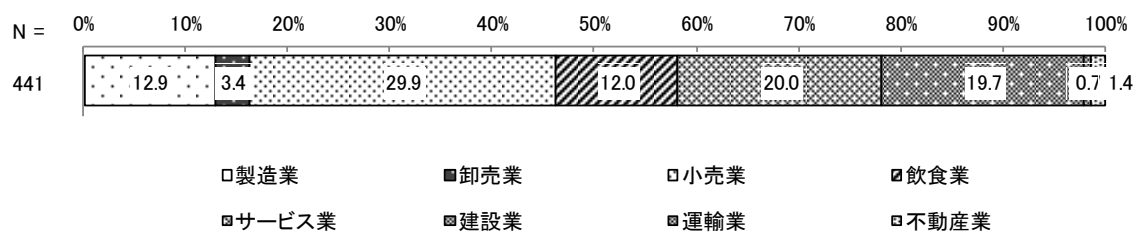
第2章

調査結果の分析

2-1 回答者の属性

(1) 業種

回答者の業種は、「小売業」29.9%、「サービス業」20.0%、「建設業」19.7%、「製造業」12.9%、「飲食業」12.0%、「卸売業」3.4%、「不動産業」1.4%、「運輸業」0.7%となっている。



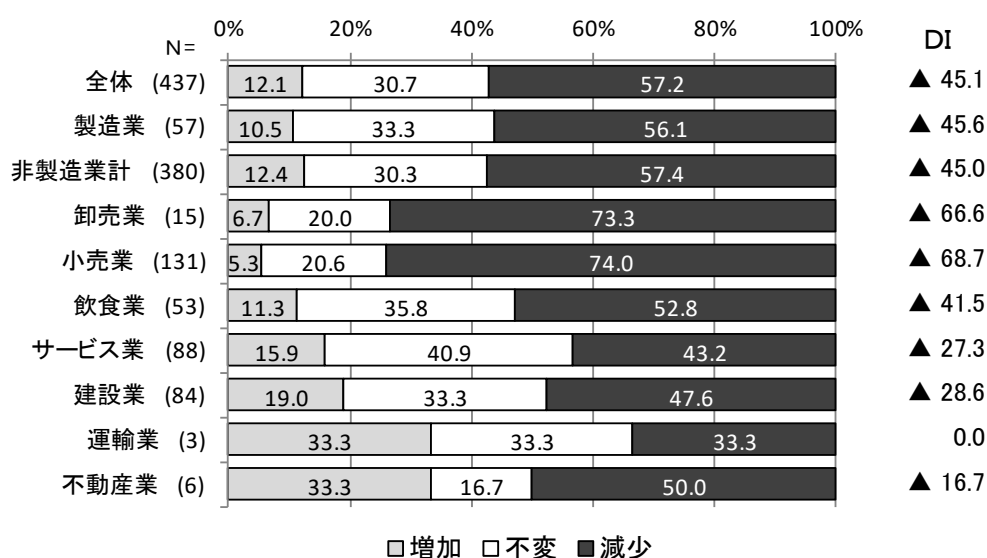
2-2 調査結果の分析

(1) 売上高

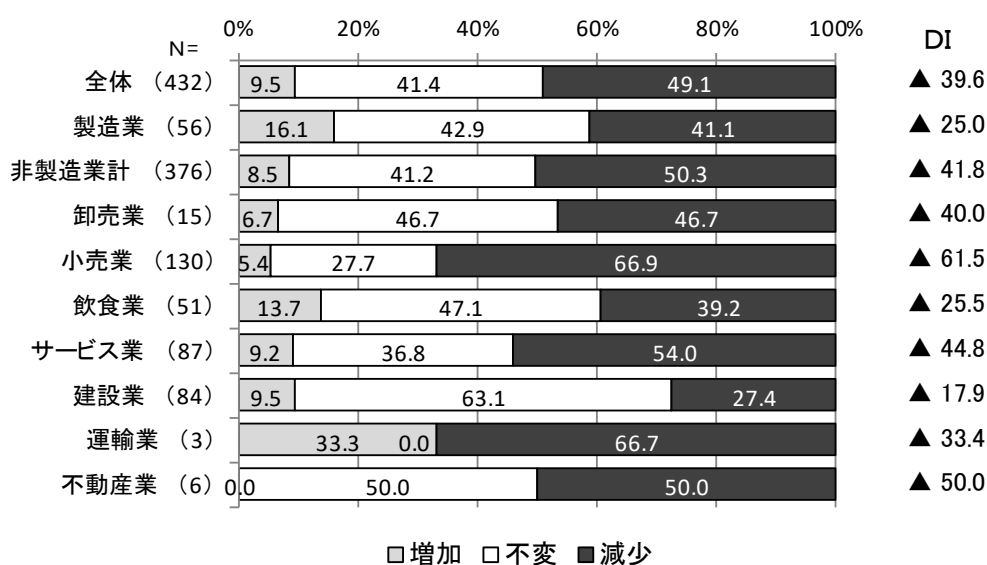
今期の売上高のD I（「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合）は▲45.1であった。業種別でみると、運輸業を除くすべての業種でマイナスとなっており、小売業は▲68.7、卸売業は▲66.6となっている。

次期の売上高のD Iは▲39.6と今期に比べマイナス幅が縮小し、好転する見通しである。業種別でみると、サービス業、運輸業及び不動産業では悪化し、これら以外の業種では好転する見通しである。

売上高（今期見通し）



売上高（次期見通し、今期比）



売上高（今期実績）

業種名	選択内容	主な理由
製造業	増加	外国人の売上UP
製造業	増加	新機種受注増のため
製造業	増加	生産増加、営業（販売）件数増加
製造業	増加	取引先が増加（わずかながら・・・）
製造業	増加	人数を増やした為
小売業	増加	エアコン等季節商品の高付加価値ゾーンの増加
小売業	増加	今期はお客が増加した。
小売業	増加	特需有り、微増
飲食業	増加	インバウンド、法事
飲食業	増加	営業時間延長と、本店の営業時間変更
飲食業	増加	口コミによると考える
飲食業	増加	今年のイベントなどのお客が多かった
飲食業	増加	宅配弁当利用者の増加
サービス業	増加	インターネットによる集客力が増加した為？
サービス業	増加	営業活動量の増加
サービス業	増加	営業努力
サービス業	増加	技術力で他のマイナス面をカバーしている
サービス業	増加	業種を増加した為
サービス業	増加	社会保険労働保険の事業所による新規加入や障害年金等の年金手続き増加
サービス業	増加	車両販売の増加
サービス業	増加	新店舗になり生徒数と客数増加
建設業	増加	従業員達の頑張り
建設業	増加	白石地区外で仕事をしているため
建設業	増加	元請、下請、共に順調だった。
不動産業	増加	街路拡幅事業による補償金による雑収入増
製造業	不変	イベント減少
卸売業	不変	二次店（小売）の減少
小売業	不変	安定しているから
サービス業	不変	営業的な活動は行っていない（広告、訪問など）
サービス業	不変	お客の高齢化（40年やっているから）
サービス業	不変	関与先の安定性
サービス業	不変	安いお店があるので
サービス業	不変	来店される客数がほぼ同じ
建設業	不変	安定感をかんじない
建設業	不変	起業して1年なので分からない
建設業	不変	前期と同等の仕事有り
製造業	減少	3ヶ月入院の為営業活動ができなかった。
製造業	減少	観光客の減少により
製造業	減少	去年（前年）が良すぎたから
製造業	減少	小売店が減少
製造業	減少	高齢の為
製造業	減少	個人の大工さん減少→大手で働く事が多い。
製造業	減少	作業する時間がない
製造業	減少	消費停滞
製造業	減少	食の変化
製造業	減少	取引先が止めてしまったため客足が減った。他の和紙を使っていることへの信頼感が少なくなっていると思われる。
製造業	減少	震災後、仕事増加による反動
製造業	減少	和室の減少
卸売業	減少	家族葬中心となる傾向にあり参列者に迷惑をかけない方向にある。
卸売業	減少	業界の景気が良くない。
卸売業	減少	スーパーやコンビニなどの増加
卸売業	減少	取引先の受注が減少
卸売業	減少	病気による休業中
小売業	減少	4kテレビの買替需要がのびない！！
小売業	減少	石、加工出来ない人に荒さられる
小売業	減少	移動販売車での販売の為、老人の方だけ。若者は日中仕事。
小売業	減少	売上少ない
小売業	減少	大型店、コンビニ出店
小売業	減少	大型店に負けた。
小売業	減少	大型店の為1/3
小売業	減少	オール電化
小売業	減少	お客様がきません
小売業	減少	会員様の高齢化と新会員の増加少なし
小売業	減少	客数の減少
小売業	減少	客数の減少
小売業	減少	客単価減少、来客数減少
小売業	減少	小売り価格の低下
小売業	減少	高齢年増加、人口の減少
小売業	減少	顧客数減少
小売業	減少	今年4月に保険点数と薬価の引き下げがあった。顧客が増えても売上減少。

業種名	選択内容	主な理由
小売業	減少	需要が少なくなった。
小売業	減少	事業縮小
小売業	減少	消費減少・人口減少
小売業	減少	消費者の高齢化、若い世代のたばこ離、人口減少
小売業	減少	人口減少と思われる。
小売業	減少	大規模店の様な商品構成が難しい。
小売業	減少	体調不良による休業の為
小売業	減少	長期病気療養の為
小売業	減少	調剤報酬引き下げの為
小売業	減少	得意先が減っている。高齢化。
小売業	減少	生魚、魚肉店、やき魚、煮魚でもやれば
小売業	減少	年3～4回行うメーカー主催のミニイベントの売上がふるわなかった
小売業	減少	農家離れ
小売業	減少	春・夏の売上が落ちた。
小売業	減少	まわりに住んでいる人の減少
小売業	減少	野菜高騰のため
小売業	減少	来店客数減少
飲食業	減少	1～6月迄はまあまあ前年度と同じ。7月から大幅に減少。
飲食業	減少	アベノミクスの失敗による景気悪化。天候不順、そばブームの終焉
飲食業	減少	会社、市役所の人達が動かない。
飲食業	減少	改装工事休業のため
飲食業	減少	勝手な思い込み、お客様のニーズがすれ違いだった
飲食業	減少	客数減
飲食業	減少	休日を増す
飲食業	減少	個人単価が低い
飲食業	減少	コンビニの弁当が安すぎる
飲食業	減少	地元企業が無い為に若者達の働くところがないから動かない
飲食業	減少	年金引き落とし分が多いため。消費税8%
飲食業	減少	夜、出てくるお客様が少ない
飲食業	減少	利益を確保できない
サービス業	減少	アウトサイダー店がおおいため
サービス業	減少	イベント等出店による売上減
サービス業	減少	営業日数減少
サービス業	減少	営業力の低下
サービス業	減少	お客様が高齢者が多い
サービス業	減少	お客様の減少
サービス業	減少	会員が減った。
サービス業	減少	客数の減少
サービス業	減少	高齢化のため(店主もお客様も)
サービス業	減少	顧客減少、報酬減額
サービス業	減少	顧客の減少
サービス業	減少	仕事が不動です
サービス業	減少	少子化の影響
サービス業	減少	人口減少
サービス業	減少	身体的不調
サービス業	減少	宣伝不足
サービス業	減少	仙南地域の結婚式の結婚式が激減により
サービス業	減少	体調不良につきやれる仕事しか受注していない
サービス業	減少	力不足
サービス業	減少	パーマが主になってるのに、パーマをかける方少なくなってます。
サービス業	減少	日帰り休憩、宿泊ともに減少しています。
サービス業	減少	ビジネスのお客様が少ない
サービス業	減少	不景気
サービス業	減少	不景気とお客様の高齢化で
サービス業	減少	復興も一段落し、建設建築も降下傾向に有り減少した。
サービス業	減少	有価物価格の大幅下落により
サービス業	減少	夜の車人通りが少ない、忘年会・新年会の予約が少ない
サービス業	減少	若者の車離れ
建設業	減少	依頼が少ない
建設業	減少	原発凍結作業終了による
建設業	減少	仕事が少ない
建設業	減少	下請・孫請仕事が多いので
建設業	減少	受注件数が少なかった。
建設業	減少	受注の減少
建設業	減少	震災復興関連工事の減少のため
建設業	減少	仙南地区に仕事がない為
建設業	減少	地域経済の落ち込み、人口減少
建設業	減少	取引先受注量の減
建設業	減少	不動産業については、入居者が減るため
運輸業	減少	復興事業が終息してきた

売上高（次期見通し）

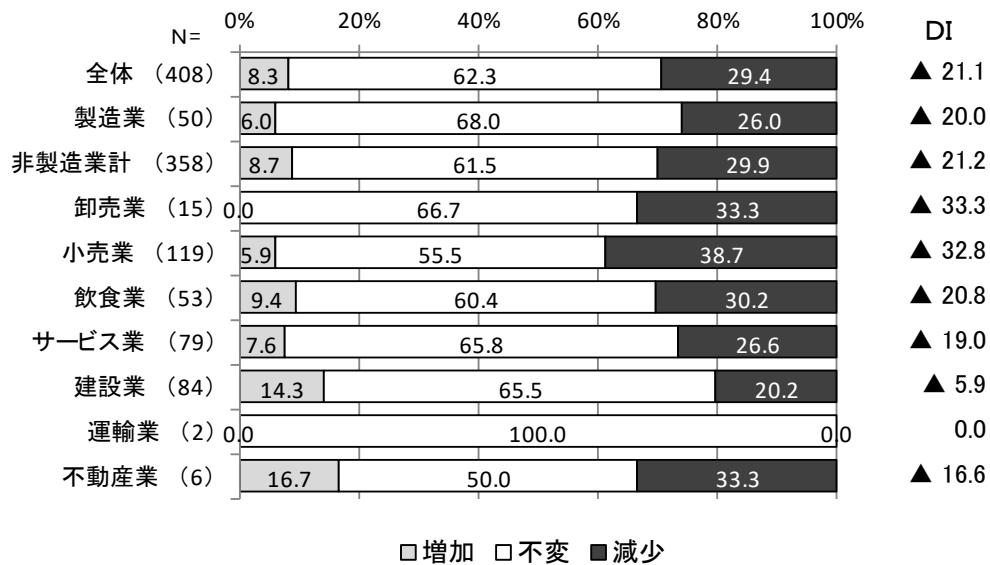
業種名	選択内容	主な理由
製造業	増加	営業活動を再開予定
製造業	増加	コラボ商品の開発
製造業	増加	生産増加、営業（販売）件数増加
製造業	増加	人数を増やした為
製造業	増加	販売店舗オープン
小売業	増加	期待
小売業	増加	現在の傾向が続く見通し
小売業	増加	コンビニ店を閉店して新に移転開業
飲食業	増加	インバウンド等の営業
飲食業	増加	ニーズ調査をして、お客様の求めるサービスを知り、提供する
飲食業	増加	年末年始の予約が増加傾向の為
飲食業	増加	方法を考え宣伝を増やそうと考えています
サービス業	増加	競合店が少ない
サービス業	増加	業種を増加した為
サービス業	増加	事業拡大する為
サービス業	増加	社会保険労働保険の事業所による新規加入や障害年金等の年金手続き増加
サービス業	増加	新店舗になり生徒数と客数増加
建設業	増加	震災後落着きを戻してきている。
建設業	増加	ダム工事増加予定
建設業	増加	福島方面の工事受注を主にする
製造業	不変	色合いとか新製品に挑戦しようと思っている。
製造業	不変	景気の停滞
製造業	不変	現在の労働力が限界
製造業	不変	花火大会減少
卸売業	不変	来年は国見町の道の駅の取引、他の取引先拡大
小売業	不変	4Kテレビの買替需要がのびない！！
小売業	不変	オール電化の所が増加している
小売業	不変	年々子供の数が少なくなってきたる足にまめをだしても外に出向くのみ。
小売業	不変	保険の厳しさが増している
飲食業	不変	真田丸終了と、新規開拓の見込みが無いため
飲食業	不変	予約減少
サービス業	不変	可もなく不可もなく
サービス業	不変	現状のやり方を変えないため
サービス業	不変	飽和状態？！
サービス業	不変	有価物価格の上昇が見られるため
サービス業	不変	来店される客数がほぼ同じ
建設業	不変	安定感をかんじない
建設業	不変	現場の数が横ばいと思われるため
建設業	不変	今期と同等の仕事予定有り
建設業	不変	仙台廻りの仕事増
製造業	減少	観光客の減少により
製造業	減少	受注が少ない
製造業	減少	商店数減少
製造業	減少	食の変化
製造業	減少	年々店が減少
製造業	減少	和室の減少
卸売業	減少	一般葬から家族葬、直葬に変化しつつある
卸売業	減少	廃業予定
小売業	減少	明るい話があまり出てこない
小売業	減少	大型店の増加
小売業	減少	オール電化
小売業	減少	お客が来ない。
小売業	減少	お客様の高齢化
小売業	減少	企業と従業員の減少でしょう
小売業	減少	客数の減少
小売業	減少	客数の減少
小売業	減少	客単価減少、来客数減少
小売業	減少	客の減少
小売業	減少	景気の先が読めない。中程度以上の価格の買い控え。
小売業	減少	現在の見通しとして高齢化と若い方の購入のネット化
小売業	減少	小売りが売れない。
小売業	減少	顧客数減少
小売業	減少	従来2年に1回だった薬価の引き下げが、年1回、又は年数回行われる薬が出る
小売業	減少	需要が少なくなった。
小売業	減少	消費者の高齢化、若い世代のたばこ離、人口減少

業種名	選択内容	主な理由
小売業	減少	人口減
小売業	減少	人口減少
小売業	減少	人口減少？
小売業	減少	増加の理由が思い当たらない。大型店の乱立
小売業	減少	調剤報酬引き下げの為
小売業	減少	とにかく人がいない
小売業	減少	取引先の減少
小売業	減少	生魚、魚肉店、やき魚、煮魚でもやれば
小売業	減少	ネット他
小売業	減少	閉店が予定に入ってる為
小売業	減少	見通しない 平成元年の頃の1/200の売上です
飲食業	減少	消費者の収入源・年金下げ等
飲食業	減少	消費税、材料代、物価上昇
飲食業	減少	年々5～10%落ちている。来年も同じだと思う。
飲食業	減少	年配のお客様が減少傾向
サービス業	減少	アウトサイダー店がおおいため
サービス業	減少	一般のレンタルは少しずつ伸びているが売上アップは厳しい見通し。
サービス業	減少	お客様の高齢化
サービス業	減少	お客様の高齢化
サービス業	減少	上期下期でその時でちがう
サービス業	減少	景気が悪くなると予想される。
サービス業	減少	後継者の見通しが無い
サービス業	減少	高齢化のため(店主もお客様も)
サービス業	減少	顧客減少、報酬減額
サービス業	減少	顧客の減少
サービス業	減少	今期は県関係での車両販売が多かった為 落札件数
サービス業	減少	児童数減少
サービス業	減少	需要の変化
サービス業	減少	少子化の影響
サービス業	減少	人口減少
サービス業	減少	増加する理由がみつからない。
サービス業	減少	体調不良につきやれる仕事しか受注していない
サービス業	減少	地域住民の高齢化と人口減少
サービス業	減少	年々減少傾向
サービス業	減少	年齢的(本人、お客さん)
サービス業	減少	年令的、営業日数減少
サービス業	減少	高齢の方達はデーサービスでシャンプーカットをしてくれるので！！
サービス業	減少	高年齢のため
サービス業	減少	発表会をやめたから。
サービス業	減少	不景気
サービス業	減少	復興も一段落し、建設建築も降下傾向に有り減少した。
サービス業	減少	マイナス金利により定期性貯金の減少
サービス業	減少	夜の車人通りが少ない、忘年会・新年会の予約が少ない
建設業	減少	一般家庭・小規模事業所等の消費動向の変化
建設業	減少	大きな受注見通しが少ない。
建設業	減少	工事発注が減少の傾向だから。
建設業	減少	仕事が少ない
建設業	減少	受注の減少にともない需要の低下
建設業	減少	新築物件が少ない為
建設業	減少	地域経済の落ち込み、人口減少
運輸業	減少	復興事業が終息してきた
不動産業	減少	貸家の築年数の経過に伴い、家賃減額の見通し。
飲食業		家計の支出の中で一番コントロールできる分野は外食費なので、景気の先行きが不透明なため見通しがたちません。
建設業		肩が痛くて手が上がらないので休んでます
建設業		わからない

(2) 資金繰り

今期の資金繰りのD I（「増加」と答えた事業者の割合－「減少」と答えた事業者の割合）は▲21.1であった。業種別でみると、運輸業を除くすべての業種でマイナスとなっている。

資金繰り（今期実績、前年同期比）



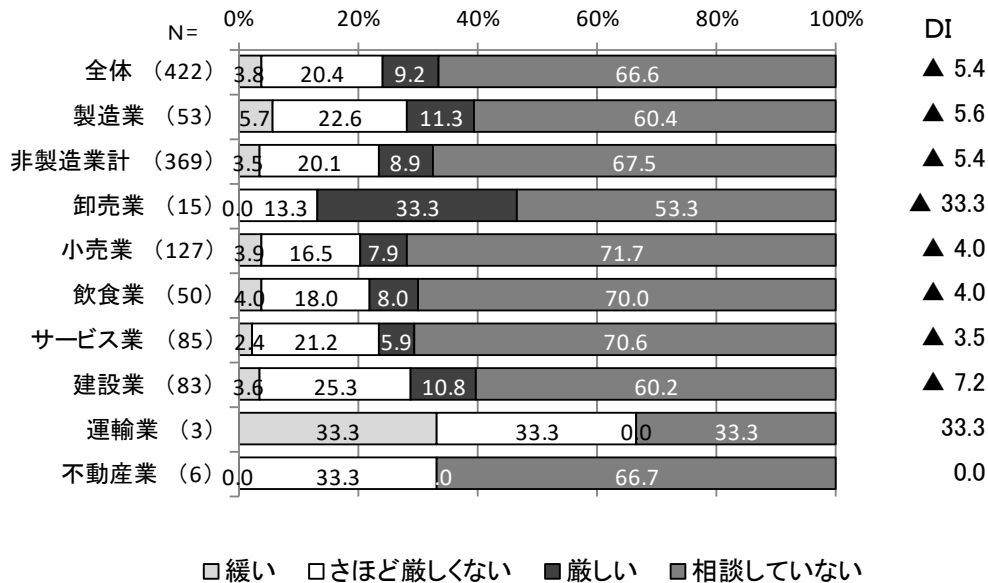
資金繰り（今期実績）

業種名	選択内容	主な理由
小売業	増加	経費を見直した。たとえば電気の基本料金。契約容量の変更。月3万の節減
小売業	増加	パート賃金増加にもあり、売上ダウン。
飲食業	増加	設備の老朽化による入れ替え
サービス業	増加	金融機関からの借入
サービス業	増加	不動産購入
建設業	増加	足りない分を預金から補う
製造業	不変	借入を返却している
製造業	不変	収入に合わせての資金繰りのため
製造業	不変	毎年変化なし
小売業	不変	4Kテレビの買替需要がのびない！！
小売業	不変	景品交換の給料。家賃が同額
小売業	不変	手持資金
飲食業	不変	1人でやっているので昼のお客様を増やしていく。
飲食業	不変	利益率が低い
サービス業	不変	家族の預金で回している
サービス業	不変	借入には応じていただいている
サービス業	不変	現状維持
サービス業	不変	事業資金を余り必要としない仕事なので
サービス業	不変	資金繰りをして業務拡大というレベルには到達していない。
サービス業	不変	借金はしないで・・・と思っている
サービス業	不変	収入減に比例して経費減額
サービス業	不変	相談してない。
建設業	不変	いつも大変なので
建設業	不変	仕事の減少を今までの回転をしようとするので不変
建設業	不変	借用する事がない
建設業	不変	すべて現金商売のため、また、雇用者が1人減ったため
建設業	不変	特段大型にやってないのでまあまあ
建設業	不変	見積がいっぱい
製造業	減少	売上が減少のため
製造業	減少	売掛金の回収が出来てない為
製造業	減少	和室の減少
小売業	減少	売上が悪ければ資金繰りも悪い
小売業	減少	売上高不振
小売業	減少	お客が来ない。
小売業	減少	収入減少の為
小売業	減少	需要が少なくなった。
小売業	減少	前問と同様
小売業	減少	年会くらし
小売業	減少	年々収入が少ない
小売業	減少	必要がない
小売業	減少	利益が減少しているので税金8%は大変
飲食業	減少	売上減少のため
飲食業	減少	借入しても返済の目度がたたない。
飲食業	減少	初期投資
飲食業	減少	返済の予定がたてられない
飲食業	減少	本店新築の悪影響
サービス業	減少	今もボランティア的に行っている。
サービス業	減少	営業日数減少
サービス業	減少	客数の減少によるもの
サービス業	減少	高齢化のため（店主もお客様も）
サービス業	減少	収入が有りません
サービス業	減少	人口減少
サービス業	減少	ひますぎです。私共も年老いてるせいもあるし午前中の仕事にしています。
建設業	減少	景気が悪く、消費税が上がったせいもある。
建設業	減少	仕事が減少している為
建設業	減少	仕事が少ない
サービス業		個人経営なのでなんとか

(3) 金融機関からの借入

今期の金融機関からの借入のD I（「緩い」と答えた事業者の割合－「厳しい」と答えた事業者の割合）は▲5.4であった。業種別でみると、運輸業及び不動産業を除いたすべての業種でマイナスとなっている。

金融機関からの借入



金融機関からの借入について

業種名	選択内容	主な理由
運輸業	緩い	元請けより、回収できない金額があったが、相談にのってくれた
小売業	さほど厳しくない	金融機関さんも考えてくれている
小売業	さほど厳しくない	公庫の返済がだいぶ進んだので相談で少々融資していただけた。
小売業	さほど厳しくない	自力でがんばるだけがんばっていきたく頼み
小売業	さほど厳しくない	特にない
小売業	さほど厳しくない	返済計画の無理のない策定
サービス業	さほど厳しくない	赤字決算が常態化している
サービス業	さほど厳しくない	借入には応じていただいている
サービス業	さほど厳しくない	新店舗になり生徒数と客数増加
サービス業	さほど厳しくない	不明
建設業	さほど厳しくない	必ず返済を考えている第一に
不動産業	さほど厳しくない	賃貸業としては投資する時期ではないので
製造業	厳しい	借入しても返済の見通しが無い
製造業	厳しい	設備投資をして期間が短いので
卸売業	厳しい	売上減少により難しいと思う
小売業	厳しい	売上高減少
小売業	厳しい	借金したら支払が仲々大変です。
サービス業	厳しい	業績審査が厳しい
サービス業	厳しい	高齢化のため(店主もお客様も)
建設業	厳しい	赤字決算が続いているので
建設業	厳しい	売上の減少

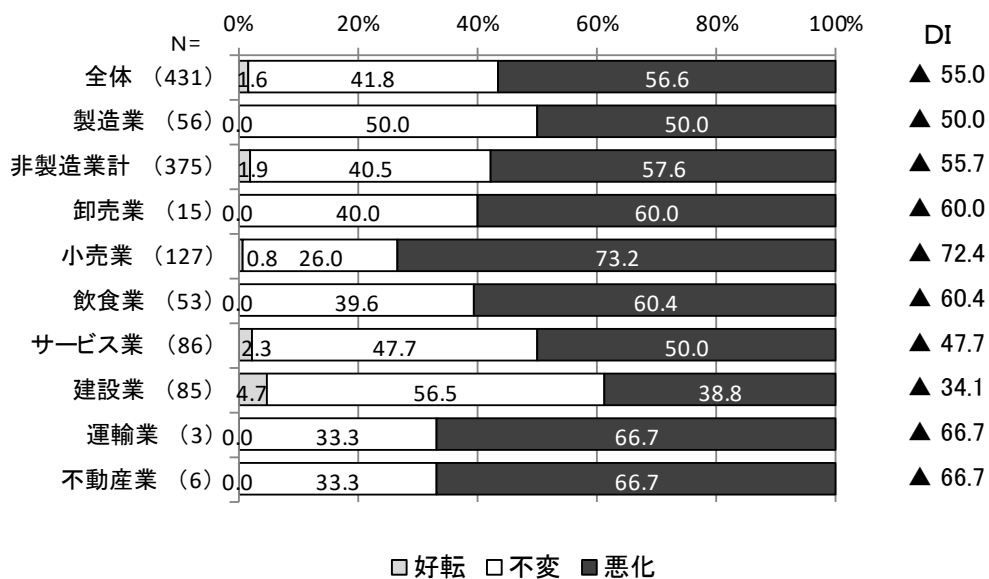
業種名	選択内容	主な理由
製造業	相談していない	借入は必要ないので
製造業	相談していない	具体的な設備投資等ないので検討してない。
製造業	相談していない	何んとかまわしている
小売業	相談していない	返せるかどうかわからない。
小売業	相談していない	借入しても返済するのが大変です
小売業	相談していない	借り入れたら返すめどがない
小売業	相談していない	借りる気がない。
小売業	相談していない	仕入れも少ないから
小売業	相談していない	小規模事業者は金融機関は相手にしないでしょう。
小売業	相談していない	すでに借入があるため
小売業	相談していない	手持ち資金
小売業	相談していない	必要がない
小売業	相談していない	必要がないから
小売業	相談していない	新たな事業の資金借入により厳しくなるかも
小売業	相談していない	利息だけでも大変
飲食業	相談していない	借りたくない
飲食業	相談していない	サービス業はBKはきびしく貸してくれない
飲食業	相談していない	なし
飲食業	相談していない	返済がきつい
飲食業	相談していない	本店新築の時にギリギリまで借りてしまっているので、助けて欲しいけど無理だと思い
サービス業	相談していない	借入なし
サービス業	相談していない	借入れるほど収入がない。
サービス業	相談していない	考えていない
サービス業	相談していない	現在は借入の予定はない。
サービス業	相談していない	これから時期が大変になって来ると思われるか
サービス業	相談していない	自己資金による経営
サービス業	相談していない	自己資本で間に合っている。
サービス業	相談していない	借金はしないで・・・と思っている
サービス業	相談していない	貯金をおろす
サービス業	相談していない	年金で手出ししてます。
サービス業	相談していない	年金分を使用
サービス業	相談していない	必要としていない為。
サービス業	相談していない	必要としていない為。
サービス業	相談していない	必要ないため
サービス業	相談していない	やっと返済終わりました。
建設業	相談していない	今の所、余計な借入なし
建設業	相談していない	積立資金がある
建設業	相談していない	当面は不要のため
製造業		高齢のため自己資金で
小売業		高齢のため
飲食業		借入せずなんとかやっている
飲食業		借入なし
飲食業		なし
サービス業		借入金はない
サービス業		事業拡大の為借入れ済み

(4) 業界景気

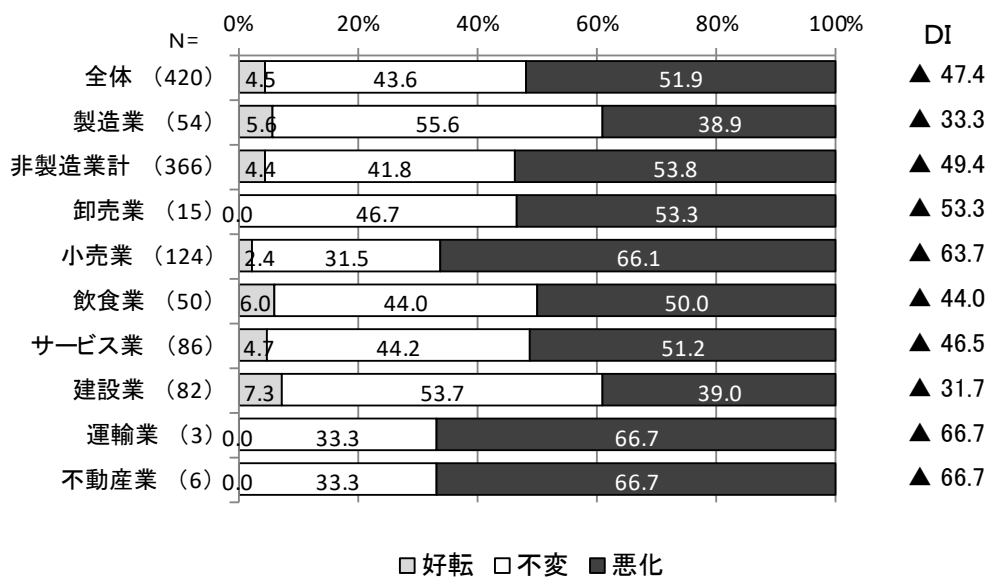
今期の業界景気のD I（「好転」と答えた事業者の割合－「悪化」と答えた事業者の割合）は▲55.0であった。業種別でみると、すべての業種でマイナスとなっており、小売業は▲72.4となっている。

次期の業界景気見通しのD Iは▲47.4と今期に比べマイナス幅が縮小し好転する見通しである。業種別でみると、運輸業及び不動産業では横ばい、これら以外の業種では好転する見通しである。

業界景気（今期実績、前年同期比）



業界景気（次期見通し、今期比）



業界景気（今期実績）

業種名	選択内容	主な理由
小売業	好転	ネコブームによって都会の方では良いようです。
サービス業	好転	政府の諸政策が多く、ビジネスチャンスは増えている。
製造業	不変	今のところおちついている
製造業	不変	原料価格上昇、為替変動
製造業	不変	昨年と同じくらい。
製造業	不変	花火、イベント悪化
製造業	不変	より品質の高いものを作るように努力している
小売業	不変	自由化により他県より大手が参入
小売業	不変	スーパー、コンビニ系増えすぎ。
小売業	不変	よそのお店がどうか知らないの。
サービス業	不変	アウトサイダー店の増加
サービス業	不変	大きな上下はない
サービス業	不変	不景気の為
サービス業	不変	前向きでない。
サービス業	不変	わからない
建設業	不変	東北六県の仕事がある為
製造業	悪化	売上減少
製造業	悪化	売上減少にて
製造業	悪化	営業活動特に値下げがひどく苦勞
製造業	悪化	こけし工人全体については悪化のきざし
製造業	悪化	食の変化
製造業	悪化	前年より価格単価減っている
製造業	悪化	量需要の低下
製造業	悪化	問1-1と答え同じ
卸売業	悪化	建築する人が少ない。
小売業	悪化	アベノミクスが波及していない。
小売業	悪化	売上高のびない
小売業	悪化	大型店、インターネット通販にシフト
小売業	悪化	大型店も撤退するくらいですから小型店は前途多難です。
小売業	悪化	お客が来ない。
小売業	悪化	競争激化
小売業	悪化	ここ数年何人かの介護による
小売業	悪化	品揃いが少ない。
小売業	悪化	需要のせい
小売業	悪化	消費税増税が据え置きになる等、医療費の財源が確保されていないので、医療費削減策が利益を悪くする
小売業	悪化	白石においてはお客様の給料は減少しているようです。
小売業	悪化	農家離れて新品が出ない
小売業	悪化	競合店があるから
小売業	悪化	保険問題の厳しさから
小売業	悪化	毎日のようにスーパーのチラシが入ってくる
小売業	悪化	メーカー問屋がほとんどの営業所が仙台から撤退している。
小売業	悪化	わかりませんが、アパレルは厳しいです。
小売業	悪化	私達の仕事がなくなり来客が少ない
飲食業	悪化	新しい店もたくさんできている
飲食業	悪化	家族の病氣
飲食業	悪化	地元白石の客がいまいち元気がない。
飲食業	悪化	消費者の収入源・年金下げ等
飲食業	悪化	食べ歩きが少ない
飲食業	悪化	周りの空気が静かな気がします
サービス業	悪化	異業種参入、人口減少
サービス業	悪化	今まで通りの写真店では無理！！だと思う
サービス業	悪化	上と同じ。午後はしめてます。午前中の予約にしています。
サービス業	悪化	高齢化が進み、アウトサイダー（安価）への利用が進んでいる。
サービス業	悪化	高齢化のため(店主もお客様も)
サービス業	悪化	少子化の影響
サービス業	悪化	人口の減少、企業が不景気
サービス業	悪化	人口の減少、サービスの多様化
サービス業	悪化	震災特耐の終結
サービス業	悪化	男性の生活感が変化しているので髪を整えるという美意識は見受けられるが調髪するサイクルがずいぶん長くなっている！
サービス業	悪化	同業者が集まると安い店の出現に皆んな困っている
サービス業	悪化	不景気
サービス業	悪化	閉店企業増加予想
サービス業	悪化	飽和状態
サービス業	悪化	保険修理の減少(事故有係数が適用される為)
サービス業	悪化	マイナス金利

業種名	選択内容	主な理由
建設業	悪化	1年近く休んでるので仕事がないと思う
建設業	悪化	地震復興仕事が終わってしまった。
建設業	悪化	受注件数が少くない為
建設業	悪化	震災特需といわれる物件がなくなる。
建設業	悪化	震災パブルの・・・
建設業	悪化	震災復興関連工事の減少のため
建設業	悪化	どんどんきびしくなる
建設業	悪化	街中がバットしない
建設業	悪化	リフォーム等への変化
建設業	悪化	流通構造の変化。業種の垣根なし
運輸業	悪化	復興事業が終息してきた
不動産業	悪化	人口減に供給過剰による空室急増現象也。
サービス業	不変、悪化	月々でちがう
建設業		わからない

業界景気（次期見通し）

業種名	選択内容	主な理由
製造業	好転	外国人観光客の増加
製造業	好転	作業する時間が多くなると思うから
小売業	好転	新店舗openの為売上向上
小売業	好転	テレビ等の買換え需要が高まる
飲食業	好転	希望
飲食業	好転	希望と行動あるのみ
サービス業	好転	希望的な見通しとして好転であってほしい。景気は「気」から・・・
サービス業	好転	自社顧客の獲得、直需の増加を見込む為
建設業	好転	希望
建設業	好転	盛岡青森に仕事の増
製造業	不変	原料価格上昇、為替変動
製造業	不変	災害の仕事が終わって
製造業	不変	商品価値を高め取引先（お客様）の信頼を高めたい
製造業	不変	建売物件が多い。内陸部は仕事の量減少。
製造業	不変	花火、イベント悪化
製造業	不変	見通しはアメリカ大統領しだいかも
卸売業	不変	市外に向けて取引先拡大
小売業	不変	願望として就職先の減少をなくし、賃金の引き上げが要望
小売業	不変	不変の一文字に向かって進むのみです。
サービス業	不変	アンテナは立てておりますが、発信がむずかしい。
サービス業	不変	大きな上下はない
サービス業	不変	後継者不足
サービス業	不変	政治不安、アメリカと日本の関係
サービス業	不変	注文なしに仕事がありません
サービス業	不変	わからない
建設業	不変	今期の現場が終わっても、次期また新たな現場が始まるため現場の数的には変動が少ないと思われる
運輸業	不変	復興事業が終息してきた
製造業	悪化	先がわからない
製造業	悪化	鳥インフルエンザの影響もあり、鶏卵鶏肉のニーズが目減りしている。消費マインドが冷え込む可能性がある。
製造業	悪化	値下げの割合に材料費が高騰
製造業	悪化	ますます悪化
小売業	悪化	大型店、インターネット通販にシフト
小売業	悪化	お客が来ない。
小売業	悪化	お客様の死亡、高齢化
小売業	悪化	需要のせい
小売業	悪化	消費税増税が据え置きになる等、医療費の財源が確保されてないので、医療費削減策が利益を悪くする
小売業	悪化	人口減少
小売業	悪化	人口減少
小売業	悪化	人口減少、高齢化、年金の不安減少

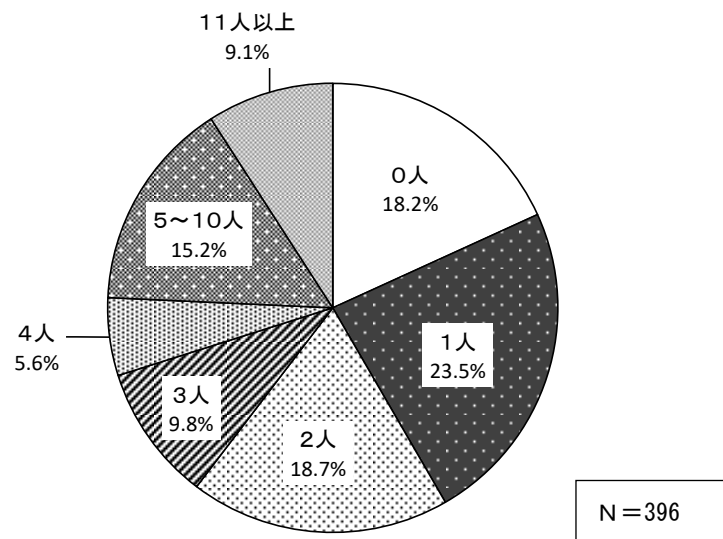
業種名	選択内容	主な理由
小売業	悪化	人口減少＋ライバルとの競争
小売業	悪化	とにかく人がいなければだめだと思う
小売業	悪化	ネット、高齢化による
小売業	悪化	保険問題の厳しさから
小売業	悪化	私共の仕事がなく時代が変わったと思います
飲食業	悪化	いつまで営業できるかわからない
飲食業	悪化	静かすぎる
飲食業	悪化	ますます飲む人が少ない為大変だと思います。
サービス業	悪化	異業種参入、人口減少
サービス業	悪化	今まで通りの写真館では無理！！だと思う
サービス業	悪化	上と同じ。午後はしめてます。午前中の予約にしています。
サービス業	悪化	景気次第ではなく店での満足度が高くなければ、これから10年で半減し理髪店のサインポールが失くなっていくように思える。
サービス業	悪化	高齢化のため(店主もお客様も)
サービス業	悪化	少子化の影響
サービス業	悪化	人口減少
サービス業	悪化	人口の減少、企業が不景気
サービス業	悪化	人口の減少、サービスの多様化
サービス業	悪化	震災特耐の終結
サービス業	悪化	同業者が集まると安い店の出現に皆んな困っている
サービス業	悪化	東日本大震災に関連する事業が減っている。
サービス業	悪化	閉店企業増加予想
サービス業	悪化	飽和状態
サービス業	悪化	マイナス金利
建設業	悪化	一般家庭・小規模事業所等の消費動向の変化
建設業	悪化	大きく業界再編が進んでいる
建設業	悪化	仕事が減少している為
建設業	悪化	人件費の高騰
建設業	悪化	震災特需といわれる物件が無くなる
建設業	悪化	震災分終了 新築分減とメーカーとの競合
建設業	悪化	東京オリンピックの為
建設業	悪化	何か目案とかかかげるものがない
不動産業	悪化	しばらくこの現象が持続すると予測出来るから。
製造業		海外原料相場状況により、不安定要因が大きい。
製造業		こけしファンが少人。
建設業		わからない

(5) 雇用状況

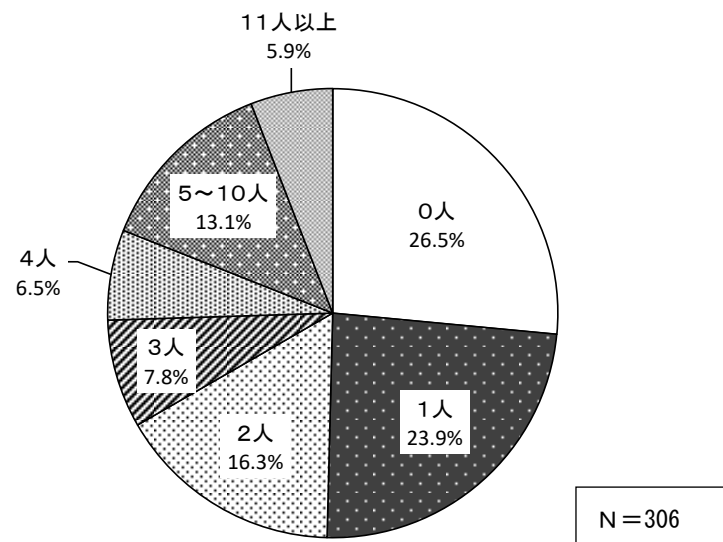
現在の従業員数は、「1人」が23.5%と最も多く、以下「2人」18.7%、「0人」18.2%、「5～10人」15.2%であった。

正規雇用者数については、「0人」が26.5%と最も多く、以下「1人」23.9%、「2人」16.3%、「5～10人」13.1%となっている。

【従業員数】



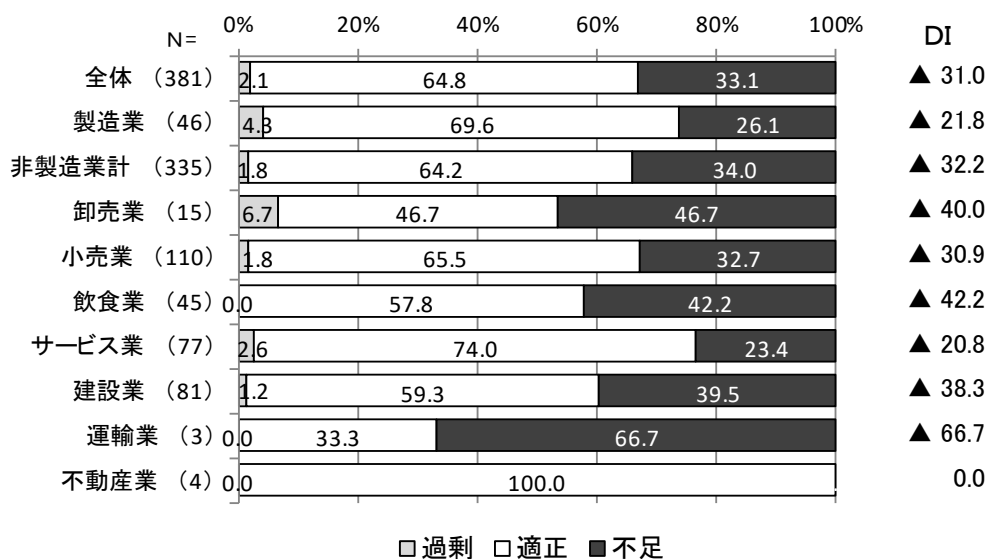
【うち正規雇用者数】



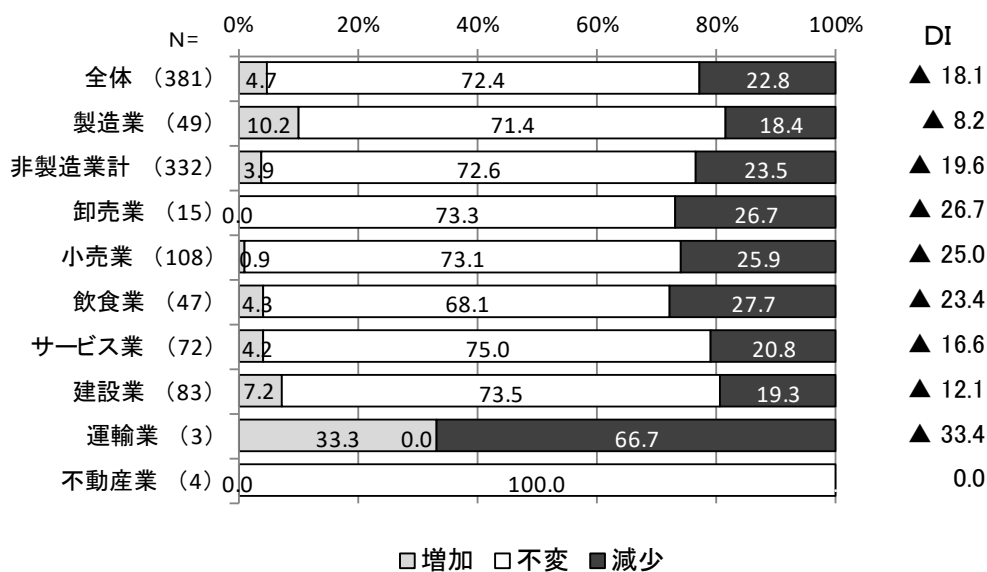
今期の雇用人員のD I（「過剰」と答えた事業者の割合－「不足」と答えた事業者の割合）は▲31.0であった。業種別でみると、不動産業を除くすべての業種でマイナスとなっている。

次期の雇用人員のD Iは▲18.1と今期実績に比べマイナス幅が縮小し増加する見通しである。業種別でみると、不動産業では横ばい、これら以外の業種では増加する見通しである。

雇用人員（今期実績、前年同期比）



雇用人員（次期見通し、今期比）



雇用人員（今期実績）

業種名	選択内容	主な理由
製造業	過剰	印刷の場合、版下作業が少なくなった。
卸売業	過剰	仕事の内容大口仕事が無く小口のが多い
小売業	過剰	売上高減少
製造業	適正	同じくらい。
製造業	適正	仕事量の減少にて
製造業	適正	少し忙しいがこれで適正だと思っている
製造業	適正	なりの需要がある。
小売業	適正	家族経営の為
小売業	適正	収入が変わらない
小売業	適正	特になし
小売業	適正	人手は欲しいですが売上に対して
小売業	適正	一人一人の持ち場があって外の人に頼むわけにはいかない
サービス業	適正	営業日、従業員の人数、労働時間のバランスが良かった
サービス業	適正	過剰感、不足感が無い為
サービス業	適正	現状の業務量は1.7人くらいであるが何とかやってきている。
サービス業	適正	高齢化のため(店主もお客様も)
サービス業	適正	仕事が増えた！
サービス業	適正	自分1人でこなせる範囲で受注している
サービス業	適正	少々の休みが出てても対応可能な形にしているので
サービス業	適正	商店街が消えているので商店街がなくても生活しやすいエリアにならないと！
サービス業	適正	店主の自分が肩をいためてるのでシャンプーができないので使用してます。
サービス業	適正	入校者数と指導員数のバランスが取れている。
建設業	適正	かわりなく
建設業	適正	規模にあった体制で間に合う。
建設業	適正	事業規模に見合っている状態
建設業	適正	仕事の仕方が、機械使用の為
建設業	適正	弟子たちは独立させたのでそれぞれががんばっている。
不動産業	適正	現状維持できているから。
製造業	不足	年々減る
製造業	不足	販売好調により人員が不足して採用スピードが遅れた
小売業	不足	売上不足
小売業	不足	消費税が8%になってから利益減少購入率減少している
小売業	不足	新店openのスタッフ数名不足
小売業	不足	スタッフの高齢化
小売業	不足	母が亡くなって、外回りをやめたから
小売業	不足	薬剤師不足の為
小売業	不足	来店客が少ない。外売もない。
飲食業	不足	家族病気
飲食業	不足	人件費を節約するために
飲食業	不足	調理員が1人の為、回しきれていない。
飲食業	不足	毎月持ち出しをしている
サービス業	不足	上記理由で売上がのびない為
サービス業	不足	年令的に見て、営業日数減少
サービス業	不足	昼・土日祭日は良いが夜の売上げが少ない
建設業	不足	原発工事終了後人員減少、他の除染等の会社に転職が多い。
建設業	不足	受注の減少
建設業	不足	働き手がいない
小売業		前年度と同じ。
建設業		比較できない
建設業		わからない

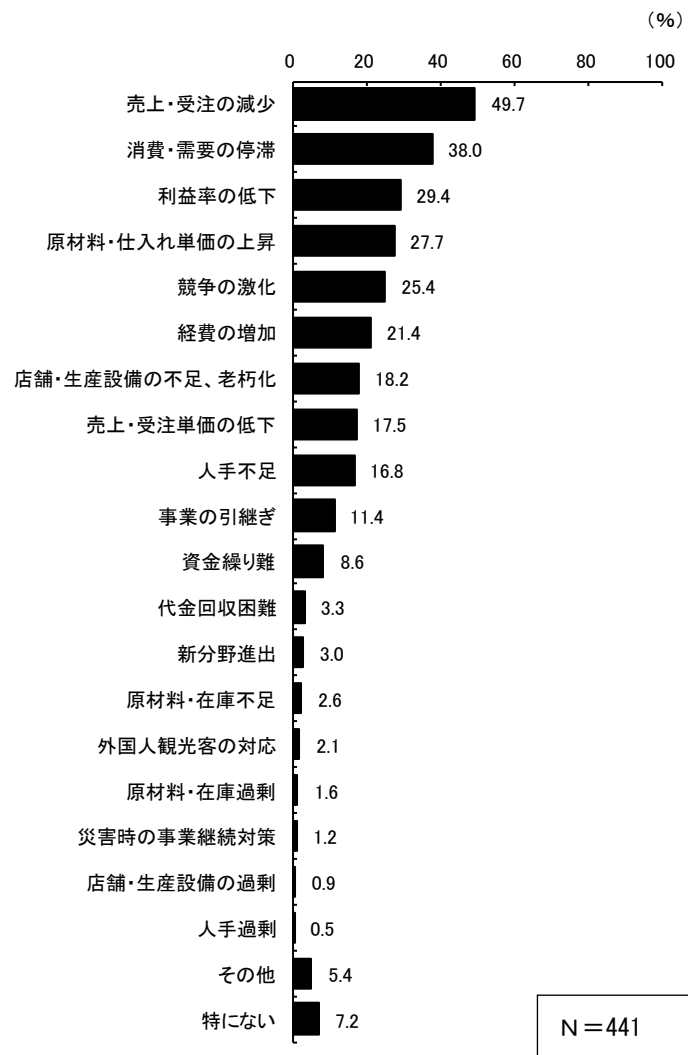
雇用人員（次期見通し）

業種名	選択内容	主な理由
製造業	増加	2017年4月より高卒2名追加
製造業	増加	新規の取引が増えたことで
製造業	増加	増加した方が体の負担が少なくなる
製造業	増加	店舗オープンの為
小売業	増加	新店openの為
サービス業	増加	事業拡大、直需の増加
サービス業	増加	新卒採用の予定があるため。
サービス業	増加	新卒者採用予定の為
建設業	増加	受注先が安定してくる為
建設業	増加	ハローワーク求人募集中
製造業	不変	集まりにくい
製造業	不変	わからない
小売業	不変	今の人数でよい。
小売業	不変	売上が上がらない限り増やせない
小売業	不変	家族経営の為
小売業	不変	先見えず。
小売業	不変	従業員を増やすことが現状維持のままで増やせない！
小売業	不変	特になし
小売業	不変	人手は欲しいですが売上に対して
飲食業	不変	売上が増えなきや何も変えられない。
飲食業	不変	現在増員するか検討中
サービス業	不変	今以上に業務が増加すれば人員も考えていく方向になる。
サービス業	不変	売上に応じて増やす場合もある
サービス業	不変	高齢化のため(店主もお客様も)
サービス業	不変	自分1人でこなせる範囲で受注している
建設業	不変	これとしての目標市役所の受注ない
建設業	不変	まだ事業の拡大が見込めないため
建設業	不変	見通し困難の中、強弱がよりはっきりしてくる
不動産業	不変	次期も現状維持が続くと思っているから。
製造業	減少	公共事業の減少
製造業	減少	受注する大工さんが減少してる為。
製造業	減少	和室の減少
小売業	減少	いつも不安
小売業	減少	売上不足
小売業	減少	商店の機能を果たしていない。
小売業	減少	消費税10%になる予定で利益減少で見通しができない
飲食業	減少	バイト募集をかけても集まりません
飲食業	減少	見通しが立たない
サービス業	減少	再雇用者の高齢化
サービス業	減少	昭和世代の「町なか」は平成世代にとって安心、安全といえないスペース、エリアになってしまった以上、たった一店舗だけでいいから「これがお店です」となる店
サービス業	減少	特殊が減ってきているので単価が安く、売上がのびない。
サービス業	減少	年令的に今までのように(体力)働けない
サービス業	減少	昼・土日祭日は良いが夜の売上げが少ない
建設業	減少	65才以上が多い
小売業		前年度と同じ。
サービス業		維持

(6) 経営上の問題点

経営上の問題点は、「売上・受注の減少」が49.7%と最も多く、以下「消費・需要の停滞」38.0%、「利益率の低下」29.4%、「原材料・仕入れ単価の上昇」27.7%、「競争の激化」25.4%、「経費の増加」21.4%となっている。

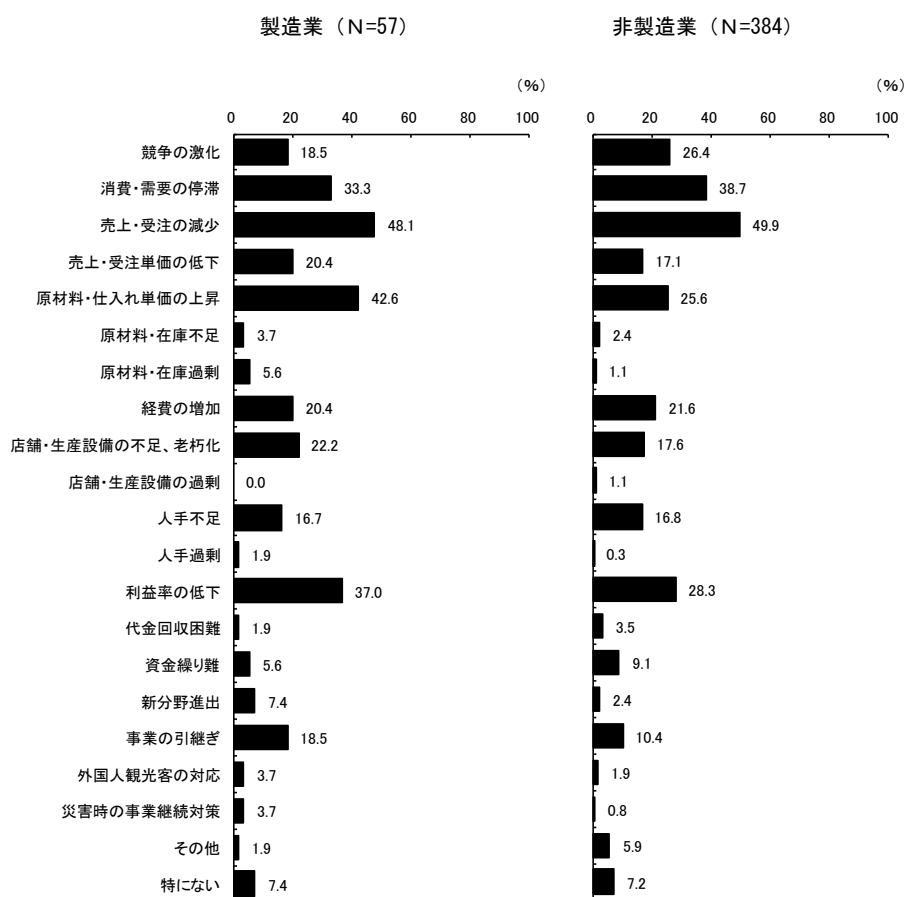
経営上の問題点（全業種計・複数回答）

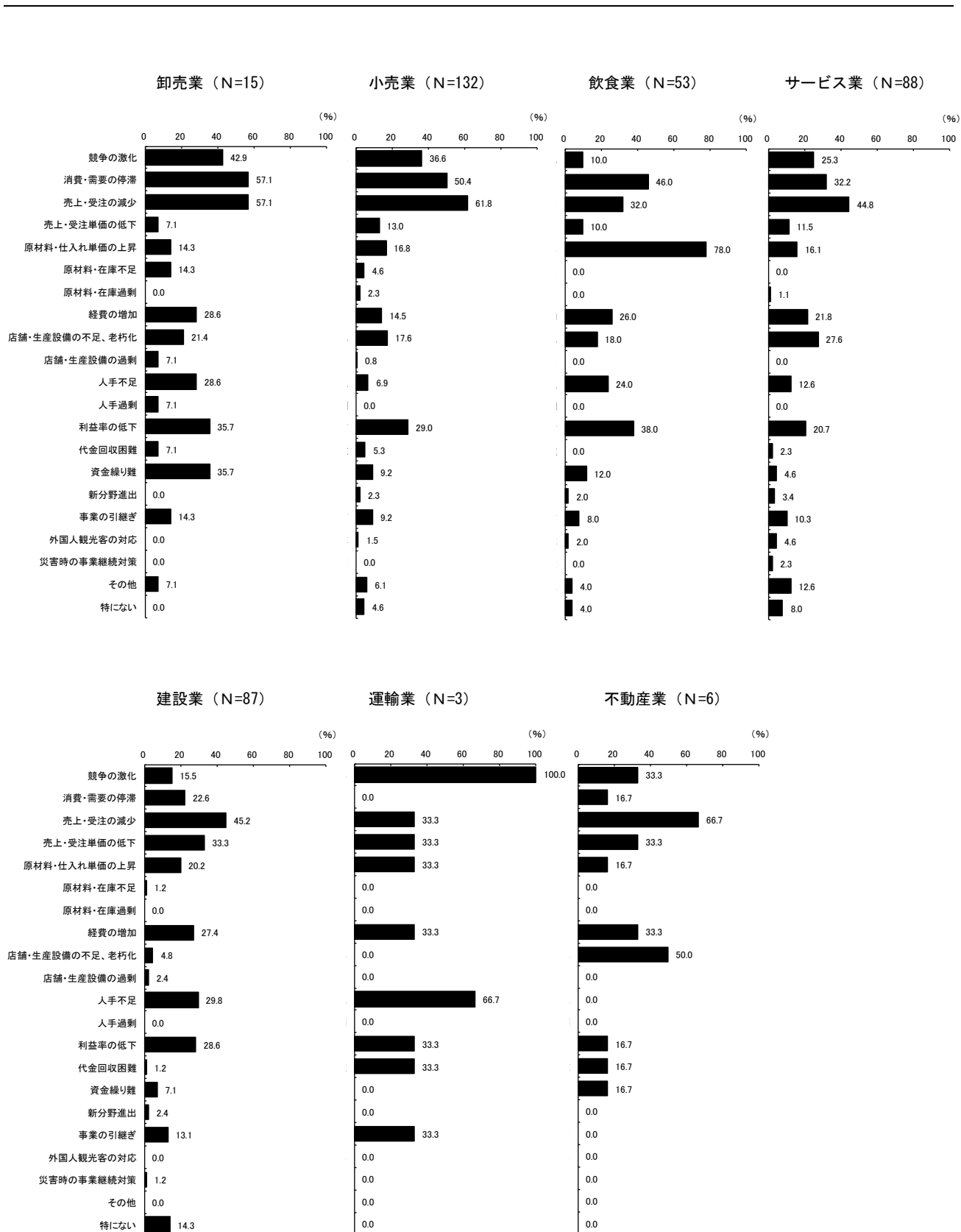


業種別でみると、経営上の問題点については、製造業、非製造業ともに「売上・受注の減少」が最も多く、それぞれ 48.1%、49.9%となっている。

製造業では以下「原材料・仕入れ単価の上昇」42.6%、「利益率の低下」37.0%、非製造業では「消費・需要の停滞」38.7%、「利益率の低下」28.3%と続いた。

経営上の問題点（業種別・複数回答）



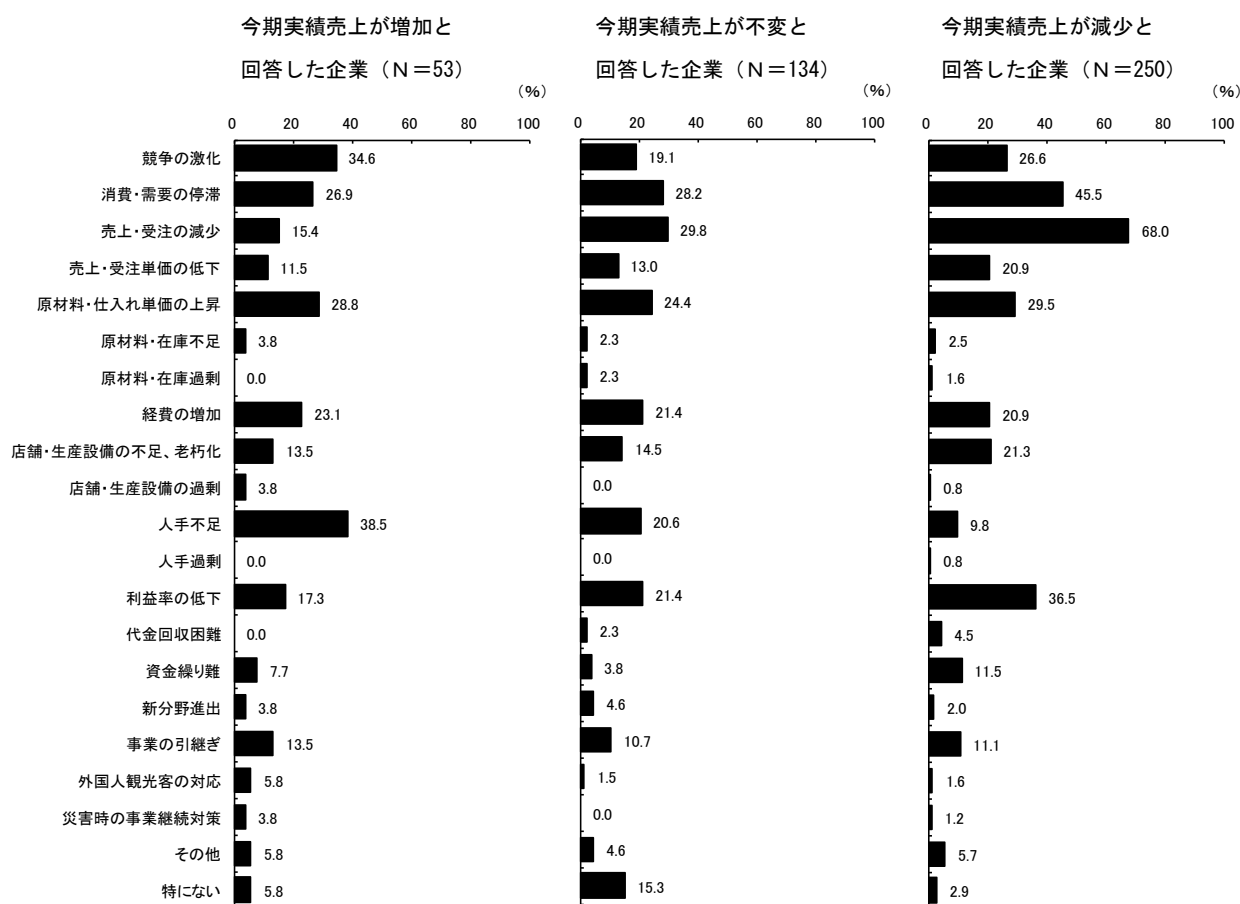


経営上の問題点と今期実績の売上高についてみると、売上高が『増加』している事業者では、「人手不足」が38.5%で最も多く、以下「競争の激化」34.6%、「原材料・仕入れ単価の上昇」28.8%となっている。

『不変』の事業者では、「売上・受注の減少」が29.8%で最も多く、以下「消費・需要の停滞」28.2%、「原材料・仕入れ単価の上昇」24.4%、「経費の増加」21.4%、「利益率の低下」21.4%、「人手不足」20.6%となっており、経営の陰りが感じられる。

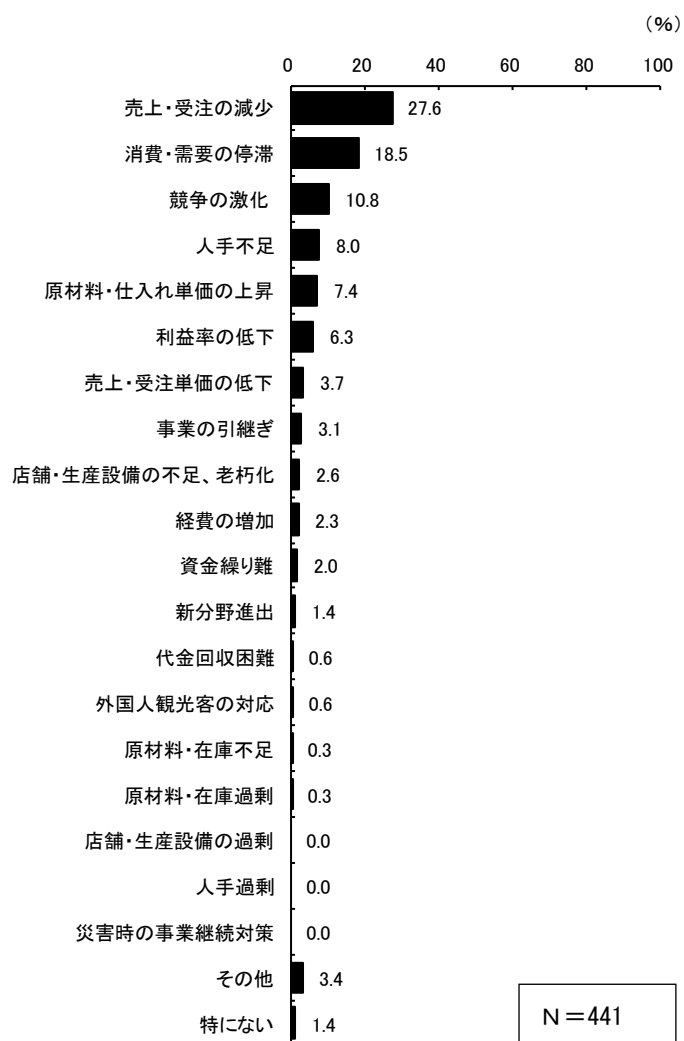
また、『減少』の事業者では、「売上・受注の減少」が68.0%と最も多く、以下「消費・需要の停滞」45.5%、「利益率の低下」36.5%と、経営を取り巻く状況が困難であることが顕著にあらわれている。

経営上の問題点と売上高（全業種計）



経営上の問題点のなかで最も重要と考える問題点は、「売上の減少・受注の減少」が 27.6%と最も多く、以下「消費・需要の停滞」18.5%、「競争の激化」10.8%、「人手不足」8.0%、「原材料・仕入れ単価の上昇」7.4%であった。

最も重要と考える問題点（全業種計）

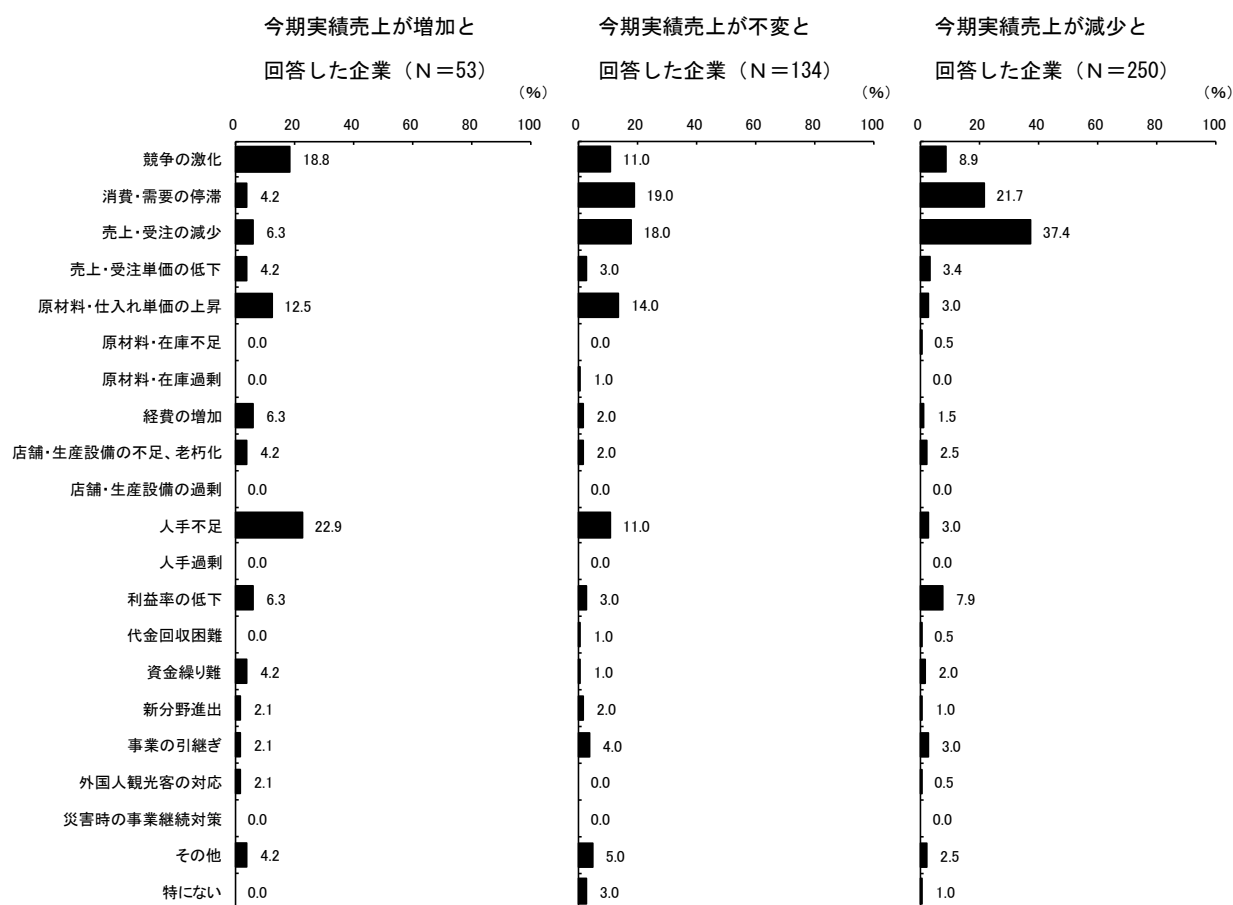


最も重要と考える問題点と今期実績の売上高についてみると、売上高が『増加』している事業者では、「人手不足」が22.9%と最も多く、次いで「競争の激化」が18.8%となっている。

『不変』の事業者では、「消費・需要の停滞」が19.0%、「売上・受注の減少」が18.0%と多く、以下「原材料・仕入れ単価の上昇」14.0%、「競争の激化」、「人手不足」がともに11.0%となっている。

『減少』の事業者では、経営上の問題と同じく「売上・受注の減少」が37.4%と最も多く、以下「消費・需要の停滞」が21.7%と、問題点が絞り込まれる結果となった。

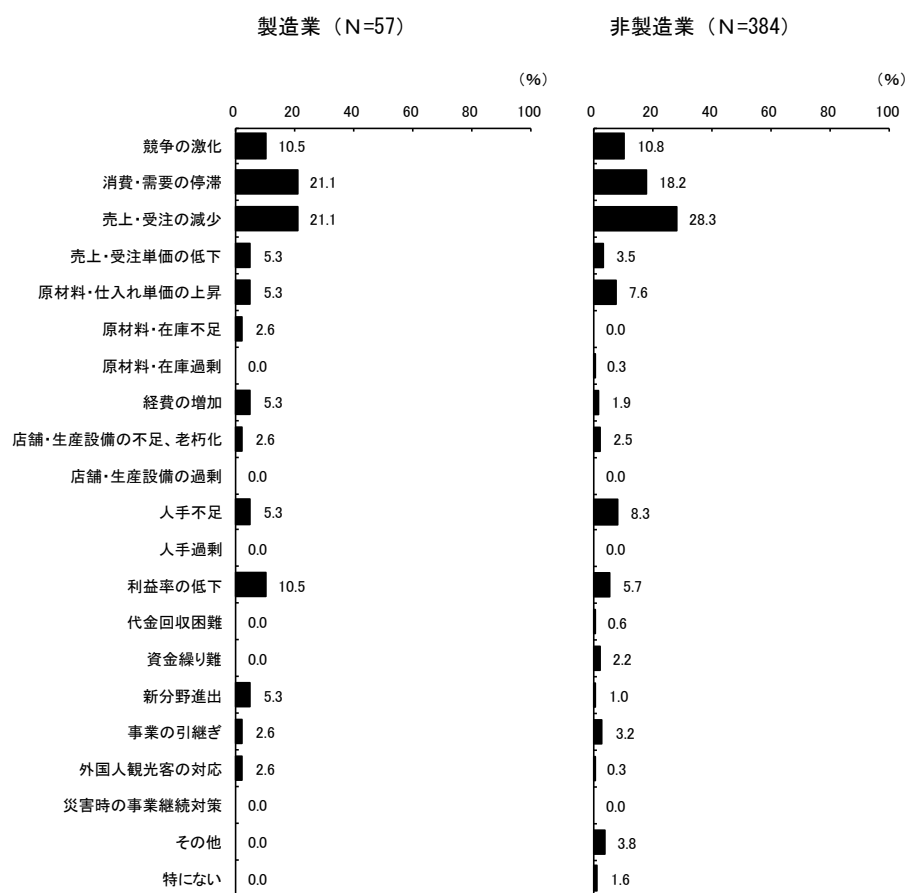
最も重要と考える問題点と売上高（全業種計）

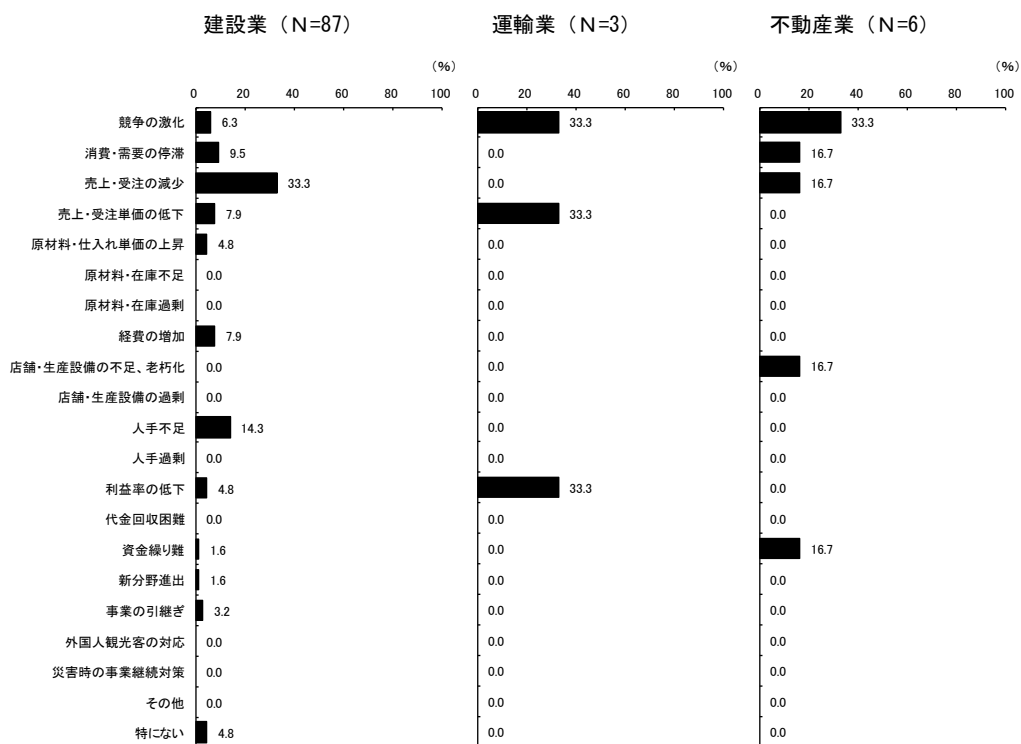
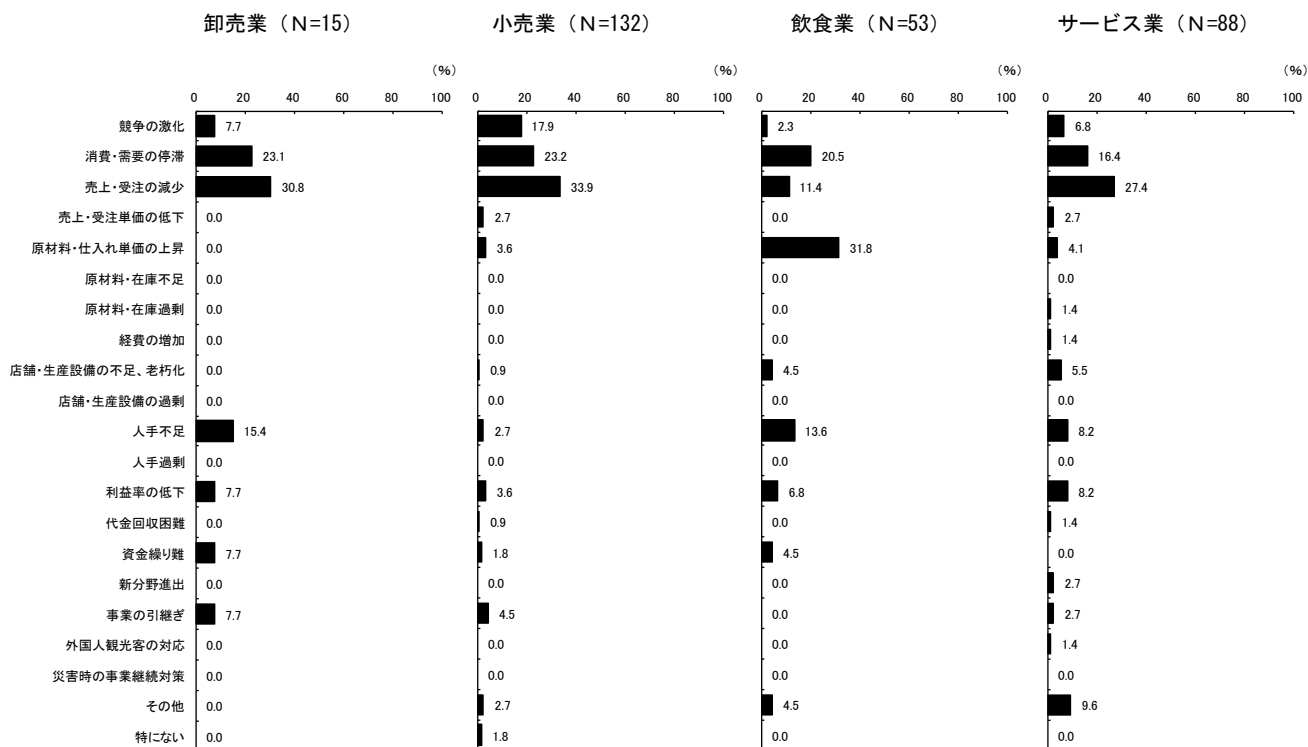


業種別でみると、製造業では「消費・需要の停滞」、卸売業、小売業、サービス業及び建設業では「売上の減少・受注の減少」、飲食業では「原材料・仕入れ単価の上昇」、運輸業及び不動産業では「競争の激化」が最も多くなっている。

全体として、消費が喚起されない中、売上低迷や競争の激化、人手不足など、事業者を取り巻く環境は依然として厳しいことがわかる。

最も重要と考える問題点（業種別）



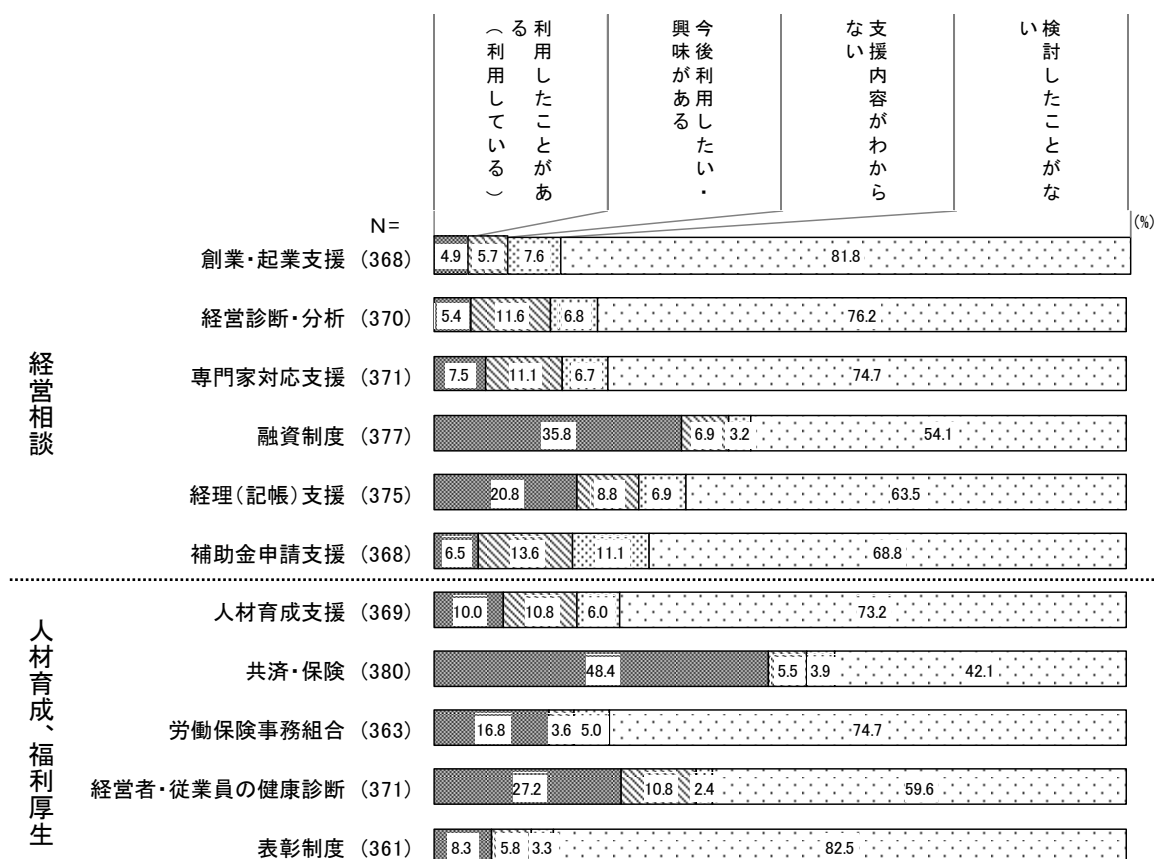


2-3 経営支援メニュー

白石商工会議所が会員事業所や小規模事業者に対して行っている各種経営支援サービスは、「利用したことがある（利用している）」項目では、「共済・保険」が48.4%と最も多く、以下「融資制度」35.8%、「経営者・従業員の健康診断」27.2%、「経理（記帳）支援」20.8%となっている。

「今後利用したい・興味がある」項目では、「補助金申請支援」が13.6%、「経営診断・分析」11.6%、「専門家対応支援」11.1%となっている。

なお、各項目について「検討したことがない」の割合は共済・保険では約4割、それ以外のすべての割合はそれぞれ約5～8割となっている。



資料編

～白石の今を知る～ 小規模事業者のアンケート

貴事業所名と、本アンケートに回答された方の所属・役職・氏名をご記入ください。また、貴事業所の業種について、該当する番号に○を付けて下さい。複数の事業を行っている場合は、主たる事業をお答えください。(○はひとつ)

①事業 所名		②記入者	所属・役職 氏 名
-----------	--	------	--------------

③業種	1. 製造業	2. 卸売業	3. 小売業	4. 飲食業
	5. サービス業	6. 建設業	7. 運輸業	8. 不動産業

問 1 自社における前年同期と比較した「a. 今期実績」と、今期と比較した「b. 次期見通し」について、それぞれ該当する番号に○を1つ付けてください。また、主な要因・理由がありましたらご記入ください。

問 1-1 売上高について

a. 今期実績 (前年同期と比較して)

1. 増加	2. 不変	3. 減少
⇒主な理由 ()		

b. 次期見通し (今期と比較して)

1. 増加	2. 不変	3. 減少
⇒主な理由 ()		

問 1-2 資金繰りについて

a. 今期実績 (前年同期と比較して)

1. 増加	2. 不変	3. 減少
⇒主な理由 ()		

b. 金融機関からの借入について

1. 緩い	2. さほど厳しくない	3. 厳しい	4. 相談していない
⇒主な理由 ()			

問 1-3 業界景気について

a. 今期実績 (前年同期と比較して)

1. 好転	2. 不変	3. 悪化
⇒主な理由 ()		

b. 次期見通し (今期と比較して)

1. 好転	2. 不変	3. 悪化
⇒主な理由 ()		

問 1-4 雇用人員について

現在の従業員数 () 名 うち正規雇用者 () 名

a. 今期実績 (前年同期と比較して)

1. 過剰	2. 適正	3. 不足
⇒主な理由 ()		

b. 次期見通し (今期と比較して)

1. 増加	2. 不変	3. 減少
⇒主な理由 ()		

裏面に続きます

問2 今期、直面している経営上の問題点について該当する番号に○を付けてください。(○はいくつでも)
また、最も重要な問題点をひとつだけ選び、該当する番号をご記入ください。

1. 競争の激化	11. 人手不足
2. 消費・需要の停滞	12. 人手過剰
3. 売上・受注の減少	13. 利益率の低下
4. 売上・受注単価の低下	14. 代金回収困難
5. 原材料・仕入れ単価の上昇	15. 資金繰り難
6. 原材料・在庫不足	16. 新分野進出
7. 原材料・在庫過剰	17. 事業の引継ぎ
8. 経費の増加	18. 外国人観光客の対応
9. 店舗・生産設備の不足、老朽化	19. 災害時の事業継続対策
10. 店舗・生産設備の過剰	20. その他 ()
	21. 特にない



最も重要と考える問題点
※上記の選択肢からひとつお選びください

問3 白石商工会議所では、会員事業所および小規模事業者に向けた支援活動として、下記の各種経営支援サービスを行っております。それぞれ該当する番号に○を1つ付けてください。

	項目	利用したことがある (利用している)	今後利用したい・興味がある	支援内容がわからない	検討したことがない
1. 経営相談	① 創業・起業支援 (創業に係る相談、新分野への相談)	1	2	3	4
	② 経営診断・分析 (財務分析、経営計画策定支援)	1	2	3	4
	③ 専門家対応支援 (各分野の専門家の無料相談と派遣)	1	2	3	4
	④ 融資制度 (白石市振興資金、日本政策金融公庫等)	1	2	3	4
	⑤ 経理(記帳)支援 (記帳指導、税務申告相談)	1	2	3	4
	⑥ 補助金申請支援 (補助金情報の提供、申請書類作成支援)	1	2	3	4
2. 人材育成、福利厚生	① 人材育成支援 (講習会、セミナー、検定試験等)	1	2	3	4
	② 共済・保険 (生命共済、特定退職金共済、他各種保険)	1	2	3	4
	③ 労働保険事務組合 (労働保険事務の代行)	1	2	3	4
	④ 経営者・従業員の健康診断 (定期健康診断、PET-CT がん検診)	1	2	3	4
	⑤ 表彰制度 (永年勤続優良従業員の表彰)	1	2	3	4

問4 その他、当所への意見要望、同業者内における業界の話題・噂等自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、平成28年12月5日(月)までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

発 行 白石商工会議所

〒989-0256 宮城県白石市字本鍛冶小路 13 番地

電 話 0224-26-2191

F A X 0224-26-3222